

第44回 山梨県障害者技能競技大会
(ビルクリーニング競技 公開課題)

1 実施課題

- (1) カーペット床清掃【課題1】
- (2) 弾性床清掃及び机上清掃【課題2】

2 留意事項

- (1) 競技の時間は課題1が7分、課題2が10分です。
制限時間を過ぎると審査の対象外となります。
- (2) 使用する資機材は、会場で準備されたもの以外は使用できません。
- (3) 採点は、《作業準備・後片付け》《作業動作(手順)》《仕様誤り》《作業態度》《作業時間》の5項目で審査し、加点方式によって行います。
- (4) 競技者は作業に適した服装で参加してください。
- (5) 作業開始の指示は、競技委員が行います。
- (6) 「始めます」「終わりました」という申告と、最初の入室時は「失礼します」という挨拶、全作業終了後の退出時は「失礼しました」と挨拶をしてください。最初と最後の入退出時以外の入退出時は、会釈をしてください。それ以外は、競技者は競技中に声を出さないでください。

※注意点

- ・最初と最後の入退出時の挨拶（「失礼します」「失礼しました」）以外の、作業途中での入退出の挨拶は、会釈のみです。

3 競技概要

【課題1】競技時間：7分

16㎡（4m×4m）の模擬事務所で、カーペット床の吸塵を含む以下の作業をします。区画された部分には壁があるものとして作業を行い、机の位置は動かさないでください。床にはあらかじめ50ml程度の屑をまいてあります。

- ① 資機材の点検・準備
- ② 作業準備
- ③ 椅子等の移動、吸塵作業
- ④ 確認
- ⑤ 後片付け

【課題2】競技時間：10分

16㎡（4m×4m）の模擬事務所で、床面（塩化ビニル系の長尺シート）の塵処理及び床面の掃き・拭き、机上拭きを含む以下の作業をします。区画された部分には壁があるものとして作業を行い、机の位置は動かさないでください。床にはあらかじめ50ml程度の屑をまいてあります。

- ① 資機材の点検・準備
- ② 作業準備

- ③ 椅子の移動
- ④ 屑処理及び屑入の移動
- ⑤ 掃き作業、拭き作業、机上拭き作業
- ⑥ 椅子及び屑入の移動
- ⑦ 確認
- ⑧ 後片付け

4 資機材一覧

【課題 1】

品名	規格	数量
椅子	パイプ式折りたたみ椅子	1 脚
真空掃除機	ポット型	1 台
机	B C 技能検定資機材に準拠	1 台
ゴミ箱	角型	1 個

【課題 2】

品名	規格	数量
作業カート	B C 技能検定資機材に準拠	1 台
作業標示板		1 個
ダスタークロスホルダー	6 3 0 mm	1 本
ダストクロス	6 9 0 mm 不織布	1 枚
ワンタッチモップ柄	アルミ伸縮柄	1 本
モップ房糸 (ラーグ)	2 6 0 g 白色	1 枚
自在箒	3 0 0 mm	1 本
文化塵取り		1 個
タオル	無地 (白色・黄色各 1 枚)	2 枚
ポリ袋・ゴミ箱	塵入用	1 枚・1 個
椅子	パイプ式折りたたみ椅子	1 脚
机	B C 技能検定資機材に準拠	1 台

(2) 競技者が持参するもの

品名	規格	数量
作業着 (上・下)		1 着
作業帽又は三角巾		1 個
作業靴		1 足

※所属先 (職場・学校) に作業着等の指定の無い競技者は、機能が類す代替品を持参することで差し支えないこと。

5 作業工程等

【課題1】カーペット床清掃

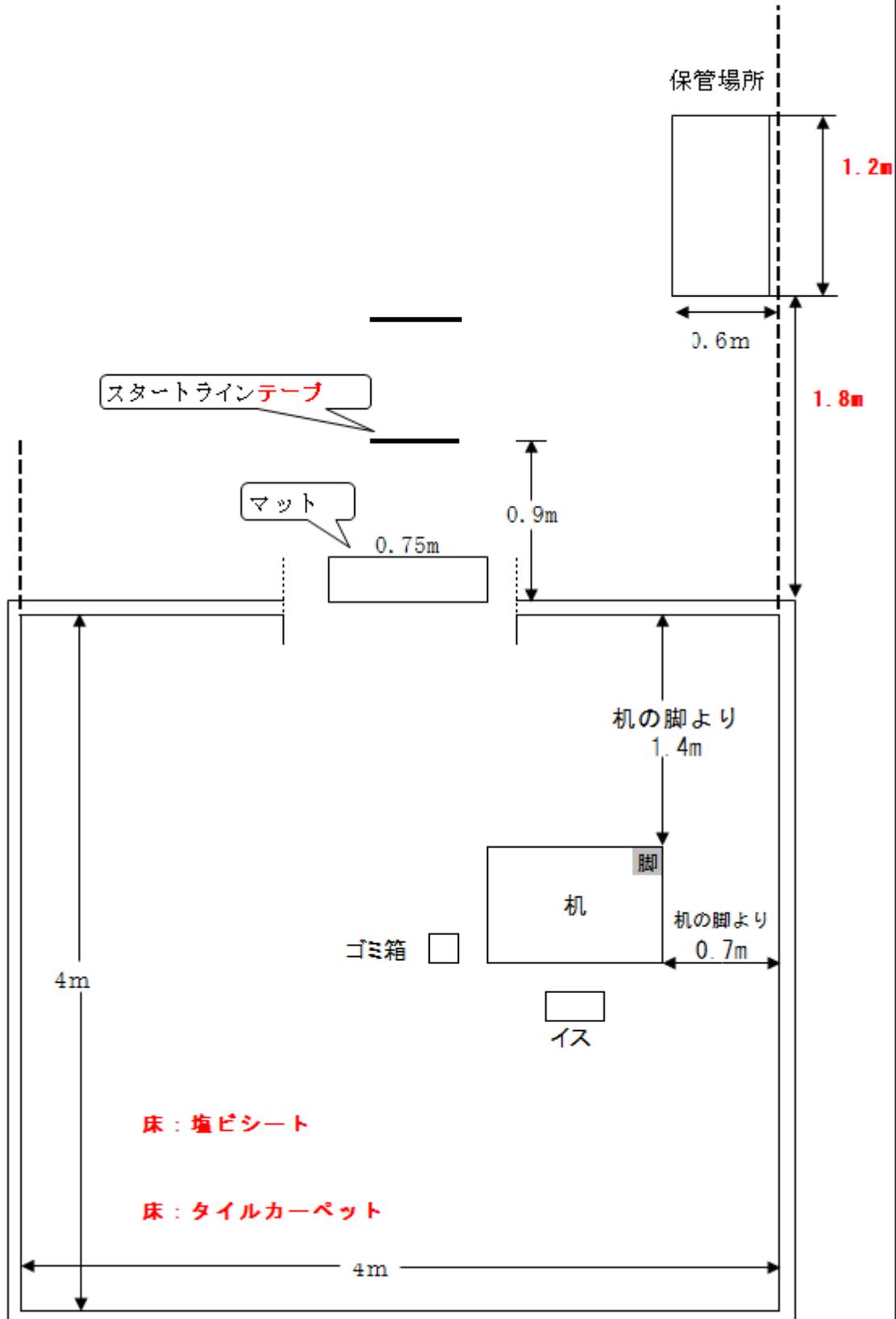
作業工程	作業方法	着眼点	備考
作業準備	・作業に必要な資機材は、すべて会場に準備されている。	・資機材が過不足なく準備されているか目視で点検し、異常があれば申し出る。	所定の位置に立つ。
開始報告	・審査員の「始め」の掛け声で「始めます」と言い作業を開始する。	・作業員は片手をあげ、礼をする。	(競技時間開始)
除塵作業	①掃除機を保管場所から作業場所近くに移動し、プラグをコンセントに差し込み、起動状況を確認する。	・吸い込み口に手を当て、風量を確認する。	入室の挨拶をする。
		・プラグは根元を持ち、奥まで確実に差し込む。	作業は、折膝で行う。
	②コート外から掃除機で出入口のゴミを取る。		(作業動線図参照)
	③前進しながらゴミを取る。		
	④ウオンドを引くときはノズルを手前に少し上げるようにして操作する。	・幅木、机の下にノズルがあたらないようにする。	
	⑤ノズルが重なるよう操作する。	・ノズルを10cm位重ねる。	
	⑥コードが、作業の邪魔にならないように操作する。		
	⑦幅木側や机の下に、ゴミが残らないようにして操作する。	・幅木側を15cm位空け、ごみは改めて取る。	
		・椅子、屑入れは移動する。	机に上げない。
	⑧プラグを持って抜き、コードを掃除機の脇に置く。	・根元を持って抜く。	
	⑨指差し、目視で点検をする。	・取り残しがあれば処理する。	再度掃除機掛け。
			退室の挨拶をする。
片づけ	①掃除機のコードを均一に巻く。	・8の字にならないように巻く。	
	②保管場所に、掃除機を戻す。		
終了報告	・審査員に「終わりました」と報告する。	・作業員は片手をあげ、礼をする。	(競技時間終了)

【課題2】 弾性床清掃及び机上清掃

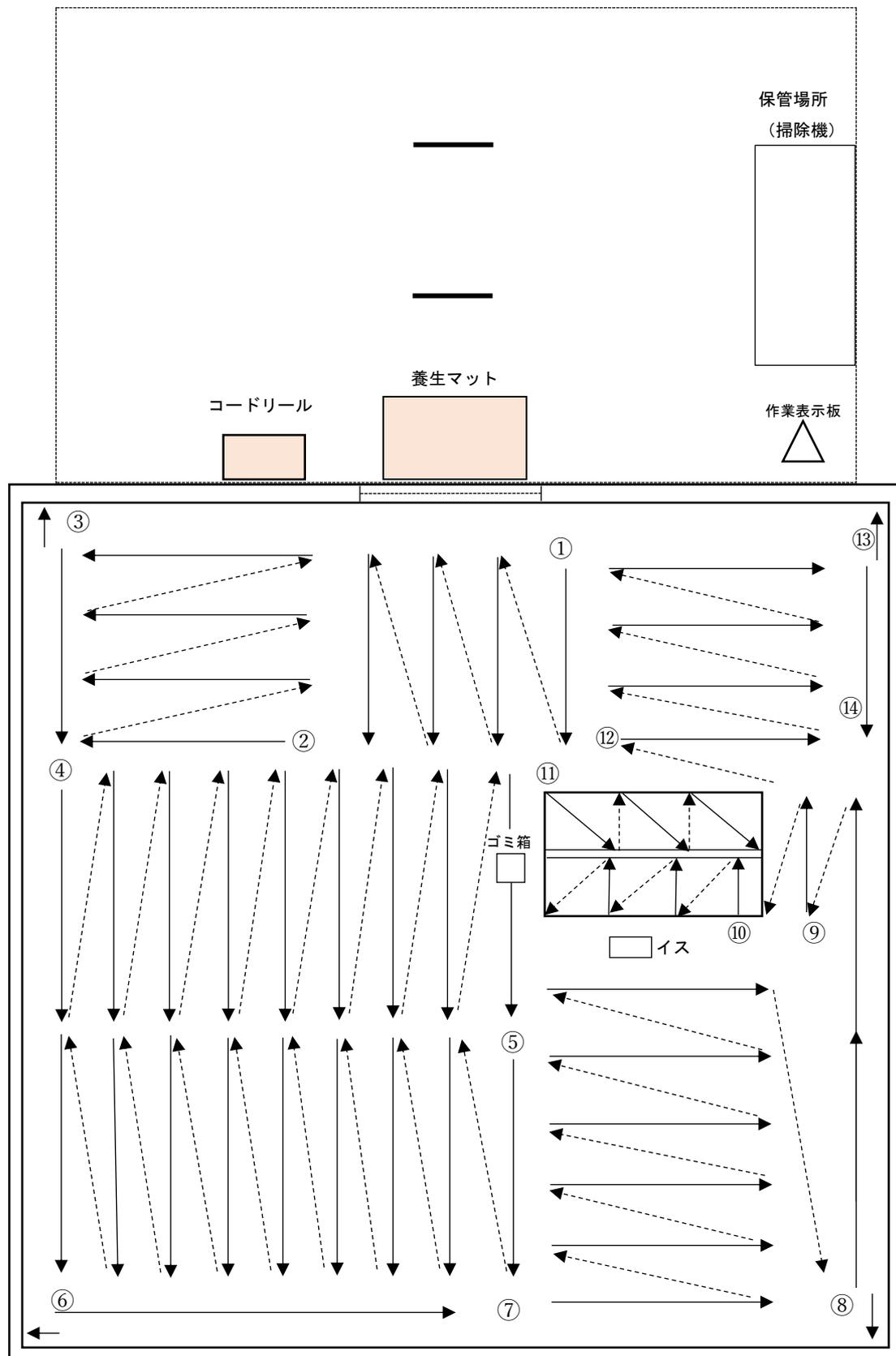
作業工程	作業方法	着眼点	備考
資機材の準備	モップの柄を調節する。	鼻から額の間に調節し、カート横の所定場所に収める。	
	乾式モップにダストクロスをつける。	ダストバックの上にクロス側を上にして置く。	
	作業に必要な資機材は、すべて会場に準備されている。	資機材が過不足なく、準備されているか指差し点検し、異常があれば申し出る。	所定の位置に立つ。
競技開始の挨拶	資機材の点検終了後、所定の位置に立ち、片手をあげ「始めます」と挨拶を行い、競技を開始する。	作業員は片手をあげ、礼をする。	(競技時間開始)
作業スタート	①作業カートを保管場所から作業場所近くに移動する。	作業カートを前に出す。	
	②作業標示板を立てる。	幅木枠のコーナーに置く。	
入室の挨拶	入り口にて、室内に向かって入室の挨拶を行う。	「失礼します」等、一礼、挨拶し、入室する。	声を出して申告する。
椅子上げとゴミ処理	①椅子を両手で机の上にあげる。	机から椅子がはみ出さないように。	入室の挨拶をする。
	②ゴミ箱の内容物を処理する。	ビニール袋ごと取り除く。	会釈をする。
		ダストバックの中に入れる。	
	③新しいビニール袋をセットする。		安全確認・会釈をする。
除塵作業	④ゴミ箱は机の上に置く。		会釈をする。
	①乾式モップのセットは、コート入口の養生マットの上で行う。		作業は折膝で行う。
	②コート外からダストモップで、出入口のゴミを取り、コート内に入り前進作業で行う。	モップを幅木、机の脚に当てない。	安全確認・会釈をする。
		ヘッドは、広い方を先行させる。	(作業動線図参照)
	③ゴミは出入口付近で一ヶ所にまとめる。		
	④ダストモップからホルダー、クロスを取る。	クロスはダストバックに入れる。	会釈をする。
	⑤自在箒、文化塵取りでゴミを取る。	穂先を扇形に使い、チリトリ内に入れる。	安全確認・会釈をする。
⑥指差し点検する。	机の下は屈んで確認する。	声を出さないこと。 会釈をする。	

	⑦箒、塵取りをカートに戻す。		
水拭き作業	①水モップの房糸と柄のセットは、コート入口の養生マットの上で行う。		作業は折膝で行う。
	②幅木側、机の下、中央部の順に拭く。	拭いたところは踏まない。	安全確認・会積をする。
	③コーナー、机廻り、出入口はモップ糸に手を添えて拭く。	房糸が幅木、机の脚に触れないようにする。	(作業動線図参照)
	④モップで全面を拭く。	中央付近に立ち、横一直線に。	
	⑤モップは1区画ごとに裏返し、選手は方向転換し、モップの全体を使って拭く。	拭き残し、拭きムラがないように拭く。	
	⑥モップは横拭き及び縦拭きとし、後退しながら拭く。		会積をする。
	⑦拭き終わったら、養生マットの上で房糸を柄から外し、作業カートに戻す。	自然の姿勢でリズムカルに拭く。	
椅子、ゴミ箱のセット	①ゴミ箱を元の位置に置く。	音を立てないように注意する。	安全確認・会積をする。
	②椅子を両手で元の位置に置く。		会積をする。
机上拭き作業	水拭き→乾拭きの順で行う。		
	①黄タオル、白タオルを持ち入室する。		安全確認・会積をする。
	②白タオル(水拭き用)で四隅を拭き、横拭きで拭く。	拭き残し、拭きムラがないように拭く。	
	③白タオルを折り返し、縦拭きで拭く。		
	④黄タオル(乾拭き用)で、四隅を拭き、横拭きで拭く。	拭き残し、拭きムラがないように拭く。	
	⑤黄タオルを折り返し、縦拭きで拭く。		会積をする。
	⑥タオルを作業カートに戻す。		
点検	①入室し、指差し確認にて作業の出来具合を確認する。	資機材の忘れ、屑入れや床の状態、机の仕上がりを点検する。	声を出さないこと。安全確認・会積をする。
		忘れ物や床の状態や机の仕上がりを点検する。	
退室の挨拶	出口にて室内に向かって退室の挨拶を行う。	「失礼しました」等一礼し、挨拶を行う。	声を出して申告する。
片づけ	①作業標示板をカートに戻し、カートを元の位置に戻す。		
終了挨拶	所定の位置に立ち、審査員に「終わりました」と報告する。	作業員は片手をあげ、礼をする。	(競技時間終了)

標準配置図(モデル)



カーペット床作業手順



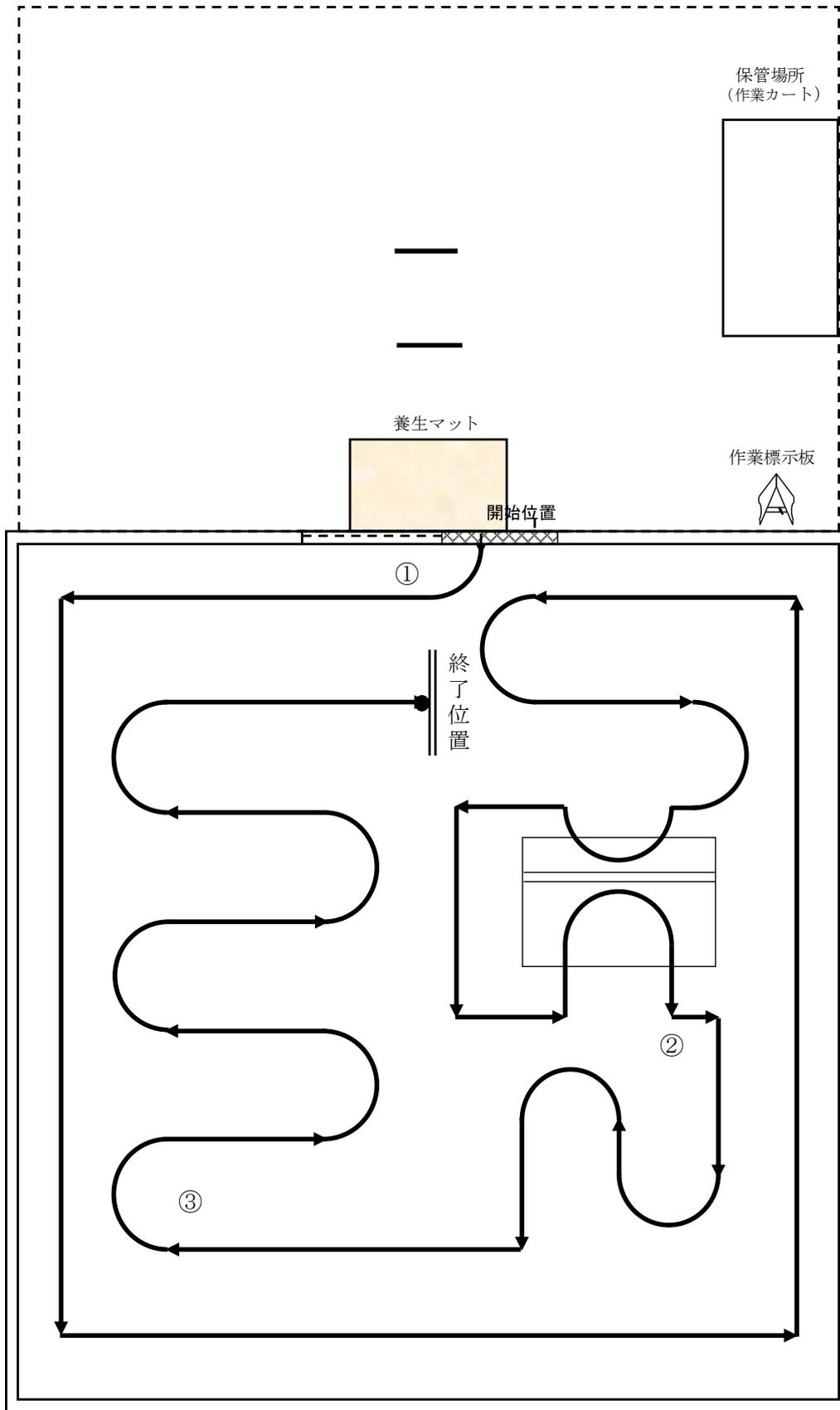
注：作業の進行①-⑭

吸引回数を入れたものではありません。

①の作業を一回の工程でできない場合は、真ん中で二度に分けても構いません。

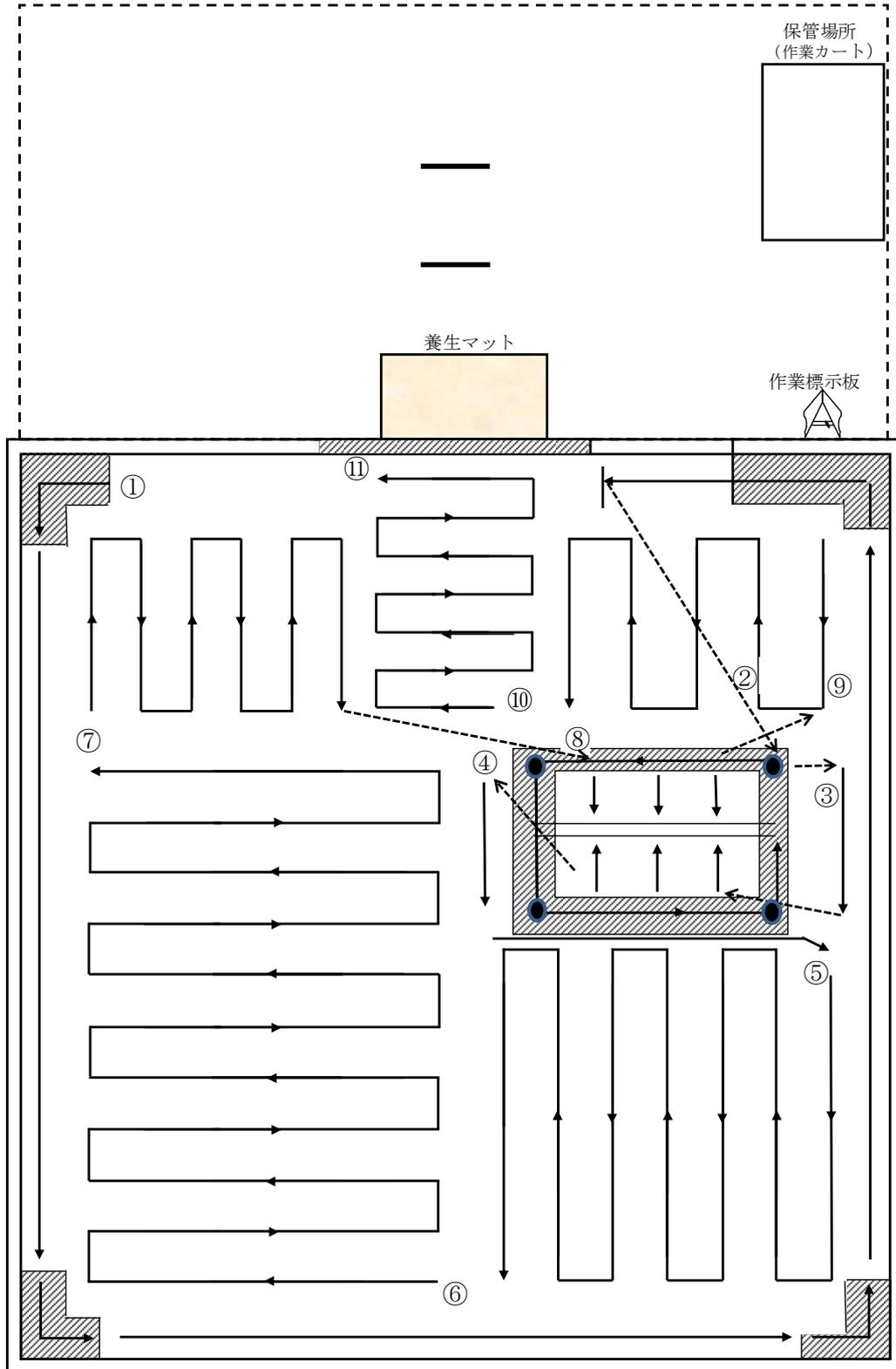
ゴミ箱の下を作業する際は、ゴミ箱を移動し、確実に吸引する。

乾式モップ作業手順



注：乾式モップのヘッドの振る回数ではありません

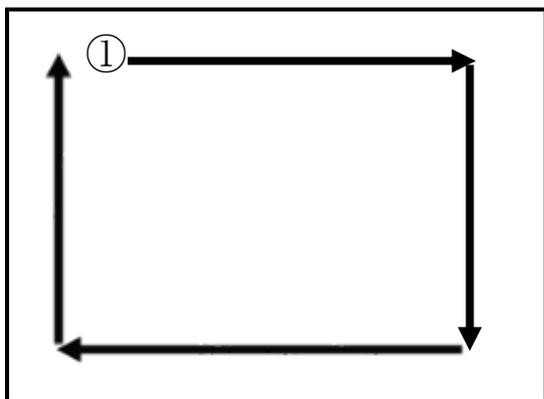
水拭きモップ作業手順



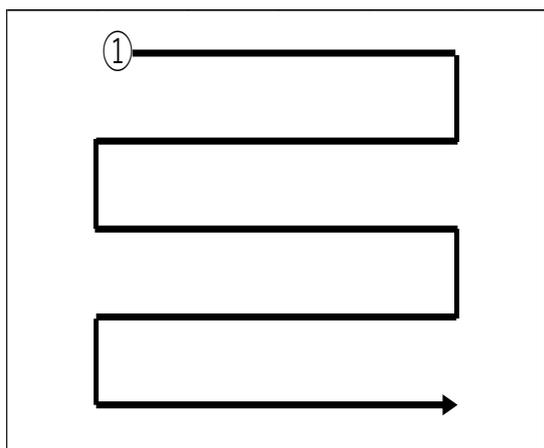
注： 印は手を添える箇所を示しています。

- ・ 巾木の角 4ヶ所
 - ・ 机の足回り
 - ・ 出入口
- | | |
|------------------|-------------|
| ① 角は手を添える。 | ⑤～⑦ 線の通り |
| ② 机の足回り 4本手を添える。 | ⑧ 机の下を拭く。 |
| ③ 机の横、下を拭く。 | ⑨～⑩ 線の通り |
| ④ 机の横、手前を拭く。 | ⑪ 出口は手を添える。 |

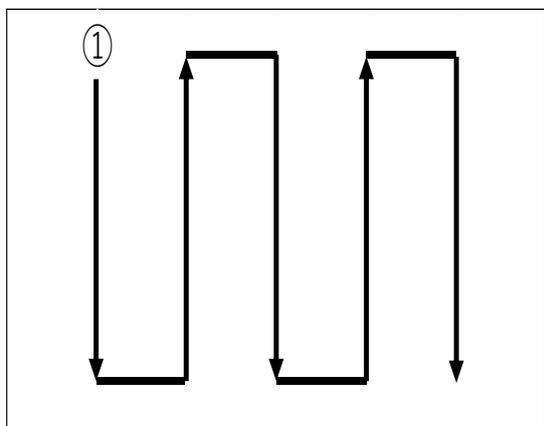
机拭き作業手順



- ①四角く、縁にそって拭きます。
(その際、テーブル、机の縁も拭きます。)



- ②横拭き：拭いていない中面を左右に拭きます。
(このとき、拭きムラの無いように注意します。
また、左右の動きにより、往復の回数が異なります。)



- ③縦拭き：拭き残しが無いように中面を上下に拭きます。
(このとき、拭きムラの無いように注意します。また、上下の動きにより往復回数は、異なります。)
- ④乾拭きも同じように行います。

注：作業手順は右手でタオルを持つ人の例になります。

左手で持つ人の場合は、左右を逆として構いません。